

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

246号



2022年4月27日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 氷塊落下！

反応が鈍いのはなぜか

3月13日に渋谷区のテニスコートに氷塊が落下したことは、一部の新聞・ラジオでしか伝えられなかったようです。日本のメディアの自由度の低さは以前から指摘されていますが、こういう所でも感じてしまいます。

また、飛行機からの落下物が現実には起きているのに、今までに報告されている車輪カバーとか大きな物が落ちてくる可能性を人は想像できないのでしょうか。まして晴天時2分に1機という航路直下の例えば常盤台小学校の教職員や保護者は何も心配していないのでしょうか。実に不思議です。

○ 国交省前では抗議集会

渋谷区のSさんの呼びかけで、国交省前で羽田問題の抗議の集会が行われています。

第2・第4月曜日 11時30分～12時30分
祭日、雨天は休み。(5月は9日から)

少人数でも諦めず継続することで広く理解を得ていくことを祈ります。

○ 板橋区でもデモ行進

4月30日(土) 14時常盤台公園集合
→太山公園で解散。50分ほど歩く。

羽田 ウクライナ に声を上げましょうという趣旨です。デモするのに慣れていない私たちには良い練習になるかもしれません。

主催は「集まろう、声を上げよう。4・30
いたばしデモ」実行委員会

○ 新しい街灯 東京新聞に載る



「街灯のデザイン レトロに」の見出しで4月4日(月)の東京新聞に写真入りで載っていました。石井幹子さん監修のことやときわ台駅改修のことも簡明に紹介されていました。

○ カルガモ夫婦が新居物色中

4月下旬、ときわ台駅前のロータリーにあるポコポコ噴水池にカルガモの番いが現われ、池で泳いだり水を飲んだり、周りの花の間で休んだりしています。どうやら新居をここに構えようと物色しているようです。

かなり人に慣れていて、ひとりのおじさんがお握りを崩してばらまいたところ、喜んで食べていました。周りでは通行人が、気が付いた人は足を止めて面白がりますが殆どは気にも掛けずに通り過ぎていきます。

たとえ良い物件が見つかってもカラスや野良ネコに卵も雛も狙われるでしょうし、大人は優しく見守ってくれても子どもは追いかけて回すのではないのでしょうか。果たして平和公園のように子育てが成功するか気になるところです。

○ 屋外不法広告物撤去

電柱などに貼り付けられる広告ビラの撤去について、板橋区から委嘱状が届きました。今年もWさんが中心になって行っている活動です。

地元ボランティアの数人が関わっていますが、前野町のマンションの管理人さんも常盤台に足を延ばして活躍してくれます。

最近では撤去されないように針金をぐるぐる巻いていたり、強力な接着剤を使ったりしています。期間が過ぎたらはがしますので、なんてしおらしいお願いが書いてあったりします。

うぐいすはまだ聞けます

前号でウグイスについて書いたところ、皆さんあの声に関心があると見えて、一丁目から幾つもの情報を寄せて頂きました。

一丁目の中板寄りのNさんのお宅では、今年もウグイスの声で目を覚ましたそうです。ウグイスの好む藪が減って、常盤台ではもうあの声を聞けないのかと思っていました。ただ諦めないで良さそうです。

また、四月の半ばになってSさんも聞いたそうで、近所の方が拡声器で流しているのかと聞いて来たくらい賑やかだったとか。

そう言えば最近では地下鉄の駅で一年中さえずっています……

石神井川の鳥は多彩

カワセミ観察で人だかりのしている石神井川ですが、セキレイはもとよりサギが桜の枝に留まっていたり、ゴイサギのような鳥も来ていました。Nさんが撮った写真を見せてくれました。餌となる小魚が豊富とも思えない川なので不思議です。野生の生物も生き抜くこと、子孫を残すことに必死というか、貪欲というか、健気な努力を続けています。

オナガの鳴き声も

今まで聞いたことのないような鳥の鳴き声を辿ってみると、なんとあのオナガでした。いつもはギューイーと耳障りな声なのに、フイー、ルルルル、とまあまああつなな鳴りです。

中板橋駅は廃止に

大山駅を移動？

大山駅周辺の再開発をめぐって、色々な変化が始まっています。踏切の改善は命に関わる大事なことで、立体化は必要ですが、高架化に伴う沿線の立ち退きには未だに軋轢が残っているようです。大山ハッピーロードの寸断や駅前広場の創設、都道の開通など一連の動きで二十年後の姿は見違えるほどになるのでしょうか。

上板橋南口の商店街の再開発は、地元の反対で一時挫折していますが、タクシーが入れるような駅前空間や災害時のことを考えると、あながち今迄のあり方が最善ではないかもしれません。そういう意識を地元の人達が持つようになるには時間を掛けた討議が必要です。行政の一方的な企画ではなく、地元の希望を最大限取り入れる姿勢が必要です。

巷のうわさでは、中板橋駅ときわ台駅は目視できるほど距離が近いので、大山駅を中板寄りにずらして中板橋駅は廃止すると。中板橋商店街の人達は落ち着かない思いでいます。

最低の吉野屋牛丼発言

全く日本中が開いた口がふさがらなくなっってしまった。「田舎から出てきたばかりの生娘をシャブ漬けのようにする。奢ってくれる男ができる食べなくなるから」とは！意識の深い所で、弱い「おんな子ども」を保護するのはなく、蔑視し餌食にする「おとこ」の本音がひそんでいたのかとぞっとする。他の多くの男性は恥ずかしく困惑していると思いたい。

常盤台公園のはなづくり

今年のチューリップはど派手な感じがしませんでしたか？

咲いてみたらイメージとは大分違ってしまうのは例年のことです。チューリップの配色を見ながら、来年の花壇の計画をしていきます。ご希望があればどうぞお寄せ下さい。

今年にはKさん・Tさんという若い後継者を得て嬉しいお花見をしました。お二人とも花や植物が大好きで、花壇の世話係として適任です。芝生の雑草取りや花がら摘みなど大勢で少しずつ手をかければそれほど負担では無いと思いますので、はなづくり会員はいつでも募集中です。

芝生の中に大分ハナニラが入り込んでしまい、地中にある球根ごと掘り出さないと退治できません。Tさんはきれいな花なのにと抵抗感がある様子、Sさんの、きれいなのは別な所で咲いてほしいという言葉で納得、晴れていて曇りがちの日を選んで作業することになりました。

ユキヤナギやコデマリ、サツキなどの刈り込みも私たちには意見の相違がありますが、しようがないなああの精神でやっています。自分も完璧な人間ではないのですから寛容な精神が一番大事ですね。

